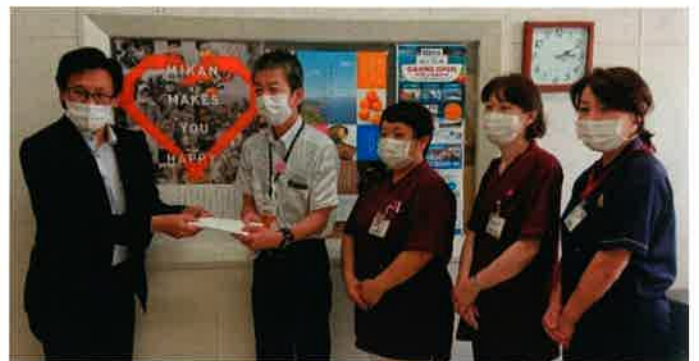


有田市立病院だより

Vol. 36

令和2年7月号



新型コロナウイルス感染症対策に
たくさんのご支援とご声援をいただき
ありがとうございます。
これからも皆様に安心していただけるよう
努力して参ります。

◆有田市立病院の理念◆

良質な医療を行い、地域医療に貢献し、利用者から信頼される病院を目指す。

有田市立病院 〒649-0316 有田市宮崎町6番地

TEL.0737-82-2151 (代) FAX.0737-82-5154

ホームページ (URL) . <https://aridahp.arida.wakayama.jp/>

発行：有田市立病院 広報委員会 当広報誌へのご意見・ご感想お待ちしております

有田市新型コロナウイルス感染症対策応援基金にご協力をお願いします

有田市では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止活動に取り組む中、寄付による医療体制維持等の支援を行います。皆様のご協力よろしくお願いたします。

※ふるさと応援寄附（ふるさと納税）ではありません。

問 保健センター TEL 82-3223

申請書のダウンロード
やWEB申請はこちら
からお願いします



「肝疾患に関する専門医療機関」の認定を受けました！

和歌山県より「肝疾患に関する専門医療機関」の認定を受けました。和歌山県や市町村が実施する肝炎ウイルス検査、肝炎ウイルス検診で陽性と判定された方が、初回精密検査を「肝疾患に関する専門医療機関」で受診された場合、検査費用の助成が行われます。

※助成対象者は以下のすべての項目に当てはまる方です【住所地を管轄する保健所に要申請】

1. 和歌山県内に住民票を有する方
2. 医療保険各法（後期高齢者を含む）の規定による被保険者または被扶養者
3. 次のいずれかに該当する方
（陽性と判定されてから1年以内に初回精密検査を受けた方に限ります）
 - ・和歌山県、和歌山市が実施する肝炎ウイルス検査（保健所、協力医療機関）で陽性と判定された方
 - ・市町村が行う健康増進事業の肝炎ウイルス検診で陽性と判定された方
 - ・職域の肝炎ウイルス検査で陽性と判定された方
4. 和歌山県肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業に同意された方

■この制度に関する詳しい内容は [和歌山県のホームページ](#) で公表されています。

和歌山県健康推進課

感染症

肝炎対策事業

■「肝炎外来」を開設しています！

〔診察日〕 毎週 火曜日 13:00 ~15:30

〔担当医〕 岡田和也 医師

■「肝炎コーディネーター」※ が7名在籍しています！

肝炎コーディネーターとは？

肝炎ウイルス検査の受検促進の他、陽性の判定を受けた者や肝炎患者、その家族への情報提供などの支援をきめ細かく行う役割を果たします。

専門医療機関、行政機関などへ橋渡ししていくことにより、肝硬変、肝がんへ移行することを減少させることを目的としています。



※令和2年3月31日認定

『ポリファーマシーについて』 パート②

こんにちは。当院薬剤師の宮本です。

パート①では、ポリファーマシーとは何か？また、薬を多剤服用すると副作用が起こりやすくなる。特に高齢患者さんは、若いときに比べて肝臓や腎臓の働きが弱くなり、副作用が出やすくなっているということをお伝えしました。

パート②では、副作用を防止するにはどうすれば良いかをお伝えします。

お薬手帳は一冊にまとめて！

日本は国民の4人に1人が65歳以上、8人に1人が75歳以上という超高齢社会に突入し、高齢患者さんの割合が年々増加しています。高齢患者さんは持病が多く、高血圧、糖尿病、関節炎など疾患ごとに1～3種類の薬を服用、特に心臓疾患で入院した際には、心臓の薬だけで4～5種類にもなります。鎮痛剤による胃炎を防ぐために胃薬も一緒に服用する、といったように、服用している薬の副作用に対して薬を追加することもあります。



複数のお医者さんにかかる場合、他から処方されている薬をきちんと伝えなければ、知らない間に同じような薬を何種類も服用していたということにもなりかねません。胃薬だけで数種類処方されている患者さんも居ました。さまざまな理由で増えていく高齢患者さんの薬ですが、種類が増えれば増えるほど薬の数や服用回数が多くなり、お医者さんの指示通り服用することが難しくなるうえ、副作用も出やすくなります。

複数のお医者さんにかかる時こそ、**一冊のお薬手帳に服薬状況をまとめておく必要があります。**病院やお医者さん毎にお薬手帳を何冊も使用したり、複数の薬局でお薬をもらっている患者さんを時々お見かけ致しますが、それでは全く意味がありません。患者さん一人に一冊、そしてお薬は一カ所の薬局（かかりつけ薬局）でもらうようにすれば、薬局の薬剤師さんが皆様のお薬を管理してくれます。重複する薬や体に合わない薬等があれば、処方医に問い合わせをしてくれます。



受診してお薬を貰う時、お薬手帳をお医者さんや薬局の薬剤師さんに必ず見せて重複や飲み合わせ等を確認してもらいましょう。また、必要以上に薬を欲しがらないようにしましょう。（つづく）

「熱中症」に注意！

熱中症予防

■水分補給

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分・経口補水液などを補給しましょう！

★経口補水液の作り方

水 1リットル
食塩 3グラム
砂糖 20グラム

■暑い日や暑い時間帯は・・・

温度調節した室内や、できるだけ風通しのよい日陰など、涼しい場所で過ごしましょう！



■熱中症の症状

めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
頭痛、吐き気、嘔吐（おうと）、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う



重症になると・・・ 返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

■対処方法

- 風通しのよい日陰など、涼しい場所へ
- 体を冷やす（首回り、脇の下、足の付け根など）
- 水分・塩分・経口補水液などを補給する

自力で水が飲めない、意識がない場合
すぐに救急車を！

感染症予防をする上での注意

■換気を確保しつつ、暑さを避けましょう

エアコンを利用する際は、感染症予防のため換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、温度設定をこまめに調整

※【環境省】【厚生労働省】

熱中症予防行動リーフレットより抜粋

■適宜マスクをはずしましょう

- 気温、湿度の高い中でのマスク着用は**要注意**！
- 屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす
- マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を！

